

TTC 提案山行実施記録表 2011年9月28日 報告者:佐藤 清

山行名	甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根		[2,967m/山梨県]						
実施日	2011年9月23日(金)~24(土) 1泊2日 マカ/タシ/公共交通利用								
天候/参加人員	天候:晴れ レベル:★★★ 参加人員:6名(男4名/女2人)								
パーティスタッフ	CL/計画:、SL:、会計:、 救護:、 写真: 氏名削除								
参加メンバー	氏名削除								
費用	マイカー使用料(@¥10×280km)¥2,800、ドライバー謝礼(@¥5,000×2日)¥10,000、燃料代(@¥140×280km÷8km/ℓ)¥4,900、高速道路代(相模湖IC→長坂IC)¥1,300、(須玉IC→大月IC)¥900 駐車料金¥1,900、タクシー代(長坂駅→竹宇駒ヶ岳神社¥3,680×2台)¥7,360、バス代(北沢峠→広河原@750×6名)¥4,500 乗合タクシー代(広河原→甲府駅@¥2,000×6名)¥12,000、電車代(甲府駅→長坂駅@570×6名)¥3,420、七丈小屋宿泊料(1泊夕食@¥7,000×6名)¥42,000、入湯料(@700×6名)¥4,200 通信費¥1,000、TTCカンパ金¥1,520、合計¥97,800(一人当たり費用¥16,300)								
歩行/行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間	
	ガイドブック	一日目	7:00	—	—	二日目	6:25	—	—
	計画	一日目	7:00	1:35	8:35	二日目	6:25	1:35	8:00
	実行	一日目	6:10	1:02	7:12	二日目	6:25	1:0*	7:2*
実行.....									
◆9/23(金)									
0:20 1:00 1:12 0:17 0:28(タシ-2台) 2:20(休17分含む) 自宅==厚木市内==相模湖IC==長坂IC==長坂駅前駐車場==竹宇駒ヶ岳神社駐車場——笹ノ平分岐 4:35 5:55 7:07 7:24 7:52~8:03 10:23~32 0:39 0:21 1:20 0:36 1:11 ——1,705m付近——1,835m付近——2,165m付近——5合目小屋跡——七丈小屋 11:11~16 11:37~47 13:07~15 13:51~14:04 15:15									
◆9/24(土)									
0:58 1:18 0:39 1:08 1:07 0:32 0:28 七丈小屋——八合目——頂上——摩利支天——駒津峰——仙水峠——仙水小屋——北沢駒仙小屋 5:01 5:59~6:05 7:23~49 8:28~34 9:42~55 11:02~15 11:47 12:15 0:15 0:23バス 1:26乗合タシ- 0:35電車 むかわの湯 中央道(双葉SAで食事30分) ——北沢峠バス停==広河原==甲府駅==長坂駅==須玉IC==大月IC==自宅 12:30~13:05 13:28 14:54~15:11 15:46~57 17:11 18:31 21:42									
.....									
<<山行前>> 9月21日(水)に大型の台風15号が日本を縦断する天気予報が出ており、山行日まで気が気でない一週間であった。七丈小屋や黒戸尾根は北杜市観光・商工課(北杜市)から、頂上から北沢峠や南アルプス林道(林道)は南アルプス観光協会(観光協会)から情報を得ることができる。 9月20日(火)に北杜市と観光協会に電話して確認をしたが、特に山行の実施を妨げるような情報は得られなかった。案の定、9月21日に台風が上陸して強い風雨で首都圏のJRや私鉄は数時間不通になってしまった。台風の影響で山行が実施できるのか心配になり、22日(木)に北杜市と観光協会に連絡してみた。黒戸尾根は通行できるとの返事であったが、観光協会からは登山道は大丈夫と思うが林道が土砂崩れのため通行止めでバスを運行していないし、いつ開通するのも分からないとの返事であった。天気は両日共に晴れ時々曇りで問題はないので、参加メンバーに、下山日に林道が通行止めの場合は、黒戸尾根をピストンすることで了解を取り、山行を実施することとした。 <<1日目>> 予定どおりの時間に参加メンバーをピックアップして、コンビニで食料を補充し、相模湖ICから中央高速道路に乗り長坂ICで降りて長坂駅前駐車場にマイカーを止めた。予約してあった目の前の大泉タクシー長坂駅構内営業所へ行き、2台のタクシーで登山口のある竹宇(ちくう)駒ヶ岳神社の駐車場に向かった。 駐車場で準備体操を行い、黒戸尾根ピストンもあり得ることを再度伝えてから7時52分に出発をした。神社で無事に山行が終了できるように祈願をして、尾白川に架かる吊り橋を越えると登山道になる。駐車場から笹ノ平分岐まで2時間20分かかったが、脱ぎタイムを入れて計27分(3回)の休憩を取ったので歩行時間は1時間53分で概ねコースタイム30分早い。笹ノ平分岐まではガラガラした上り坂であるが、ここから五丈小屋までは若干勾配がきつくなる。しかし、大山の北尾根よりは楽な登り坂である。									

途中にナイフリッジの刃渡りと呼ばれている恐ろしい名称の場所があるが、大したことはなく、参加メンバーは軽くクリアした。

黒戸山の頂上を巻いて五丈小屋跡地に着いたのは午後1時51分で、計画書の歩行時間とほぼ同様に快調である。これなら、計画より1時間早く午後3時には七丈小屋に到着できると思っていた。

ここから、七丈小屋までが、どうも黒戸尾根の核心部ではないか。梯子とクサリが連続する登山道である。梯子は、しっかりしていて安心感はあるが、若干怖いと感じた垂直に近い梯子が一ヶ所あった。

梯子、クサリ場を過ぎ緩やかな林間の先にPCの写真で見覚えのある七丈小屋に3時15分に到着した。

小屋について観光協会へ私の携帯電話(a u)で連絡をしたが途中で切れてしまい、WEさんの携帯電話(ドコモ)を借りて再度連絡をした。観光協会から「本日の午後4時に林道は開通するので、明日のバスは運行する。」との吉報を参加メンバーに伝えて、予定どおり北沢峠に向かうことを告げた。

我々の宿泊は第2七丈小屋で、荷物を置いたら早速ビール(700円/500ml)で乾杯をして、その後はそれぞれが持参した日本酒やワインとつまみで山談議に花が咲いていた。そこに藤沢から来ていた小屋に同泊のKさんご夫妻は、TTCの「THさんとKEさんを知っているよ。」と言われ一同驚いてしまった。

《2日目》

朝5時に出発するので小屋で朝食は摂らず、それぞれに持参したおにぎりやα米などを食べて5時01分に小屋を出発した。まだ暗い登山道をヘッドランプを点けて出発したが、直ぐに東の空が赤く染まり5時30分には必要が無くなっていた。八合目御来迎場へ5時59分着いた。ここのコースタイムどおりで今日も無事に計画どおり北沢峠へ到着することを祈った。2,540m付近で霜柱を発見し、皆さん「霜柱だ!」とはしゃいでいた。八合目から九合目の二本の剣、駒ヶ岳神社本社を越えて約1時間30分で駒ヶ岳山頂に到着をした。

本日は朝から快晴で360度のパノラマビューで富士山、八ヶ岳、鳳凰三山、北岳、間ノ岳、仙丈岳、塩見岳等々素晴らしい眺望だ。この景観を見るために、ここまでやってきたのだ。「これだから山はやめられないね。」と一同。摩利支天にも行くのもっと頂上にいたい気持ちを抑えて出発をした。摩利支天分岐からやや摩利支天寄りにザックを置いて、空身で頂上を目指し40分ほどで着いた。頂上から見た甲斐駒は、花崗岩で出来上がった白い山肌がその雄姿を引き立てている。一息ついたら分岐まで戻り、ここで、再度観光協会にWEさんの携帯電話を借りて連絡をした。私が「北沢峠から甲府までバスは運行しているのでしょうか。」と尋ねたら「朝、一番のバスから運行していますよ。」との返事で、内心「よっしゃ!」と思った。コースタイムどおり歩いているので午後1時05分北沢峠発のバスに間に合うだろうとは思っていたが、早く北沢峠までの時間が読める仙水峠まで行きたかった。分岐から50分ほどで駒津峰に着いて一息を入れる。駒津峰も辺りが見渡せる広い休憩場所で、振り返れば甲斐駒の雄姿が見える。大きな石がゴロゴロして歩きづらい道を1時間ぐらい下ると仙水峠が見えた。仙水峠からも前衛の摩利支天を従えた白い頂上の甲斐駒が見える。

まだまだ続く大きな石の上を歩き続け、仙水小屋の脇を抜けて数か所の堰堤を越えると広いテングのある南アルプス市北沢駒仙小屋(旧北沢長衛小屋)に着いた。ここから北沢峠のバス停までは緩い上り坂になるが、これが結構きつい。バス停には12時30分に着き、小屋でラーメンでも食べようと話していたが、食べるには時間が少ないので我慢した。予定の時間にバスは出発して広河原に13時28分に着き、広河原のバス停に歩いて行くと、乗合タクシーの方が「バス料金で甲府駅まで行くよ。」と声をかけてくれた。こちらの方が早く行くことができるので、参加メンバー6名で乗り込んだ。乗合タクシーが満席(9名)になるまで客を呼び込んでいる。これでは、バスに乗る人が少なくバス会社は赤字路線で大変だろうと思ったが、そこまで心配する必要はない。

14時54分に甲府駅に着き予定より早い15時11分発の小淵沢行きの電車に乗ることができた。長坂駅で下車して6名を載せたマイカーはむかわの湯に向かい入浴し汗臭さを落とした。須玉ICから厚木に向かう途中の双葉SAで念願のラーメンにありつくことができた。30分ほど食事をして一路厚木に向かったが、小仏トンネルから渋滞20kmで大月を少し過ぎたところから渋滞している。大月から一般道(国道20号)に降り、自宅には21時42分に着いた。

《所感》

参加メンバーの日ごろの行いが良いからだ、台風がきていて山行の実施も危うい所、ラッキーの連続で一度は歩きたかった黒戸尾根から甲斐駒山頂へ行くことができた。参加メンバーのSHさん、ETさん、STさん、WEさん、SKさんに感謝したい。

1. 2日間の山行を無事に全て計画どおりに実施することができた。
2. 大型の台風15号が上陸したが、登山道への影響はなく山行が実施できた。
3. 今回の山行では、1日目は天気が若干悪い半面涼しく歩きやすかった。2日目は雲ひとつない快晴で甲斐駒の山頂では360度見渡すことができ、2日間共に天候に恵まれた。
4. 下山する日に南アルプス林道が開通して、計画どおり北沢峠へ向かうことができた。 以上

